

「平成 18 年版 働く女性の実情」のあらまし

I 働く女性の状況（平成 18 年）

- ① 女性の労働力人口は 3 年連続で増加し、労働力率は 48.5% と 2 年連続で上昇（前年差 0.1% ポイント上昇）。
- ② M 字型カーブの底にあたる 30～34 歳層の労働力率の上昇傾向は続き、前年と比べ 0.1% ポイント上昇の 62.8%（本文図表 1-1）。

II 女性の起業

【1 自営業主の動向】

- ① 女性自営業主はサービス業に多く、女性比率も高い（本文図表 2-3）。
- ② 女性新規開業者は、無業からの開業が 7 割以上を占める（本文図表 2-19）。また、前職は、パート・アルバイトが約 4 割を占める（図表 1）。
- ③ 女性の廃業率は男性の約 2 倍であり、廃業した女性自営業主の約 1 割は、育児や介護を理由としている（本文図表 2-23、2-24）。
- ④ 女性の起業希望者に対する新規開業者の比率は男性より一貫して高い（本文図表 2-28）。
- ⑤ 女性の無業の起業希望者は男性よりも多く、近年各年齢階級層で増加がみられる（図表 2）。
- ⑥ 女性の無業の起業希望者に占める開業準備者の割合は男性より低く（本文図表 2-32）、家事・育児等の負担から開業準備をしていない者が多い（図表 3）。

【2 最近（開業 5 年以内）の女性起業者の実態】

- ① 女性起業者は男性に比べ若い年齢階級層の割合が高い（本文図表 2-37）。
- ② 女性起業者は管理職や経営の経験者が男性よりも少なく、管理職以外の正社員やパート・アルバイトが多い（本文図表 2-40）。また、起業前の就業中断期間は男性よりも長い（図表 4）。
- ③ 女性の起業分野は、サービス分野が最も多い（本文図表 2-48）。また、女性起業者の方が資本金、年間売上高とも低い（本文図表 2-50、図表 5）。
- ④ 女性は育児や介護と両立できる柔軟な働き方を求めて起業した割合が男性より高いが、その達成度の水準は他の起業目的に比べて低い（本文図表 2-52、2-53）。
- ⑤ 女性は男性に比べ、起業時・起業後とも「起業や経営の知識・ノウハウが不足」、「同じような立場の人（経営者等）との交流の場がない」に、起業後には特に家庭との両立に課題がみられる（本文図表 2-58）。
- ⑥ 起業後の女性は家事・育児等への支援や先輩起業家等からの助言サービスへのニーズが高い（本文図表 2-60）。

【まとめ】

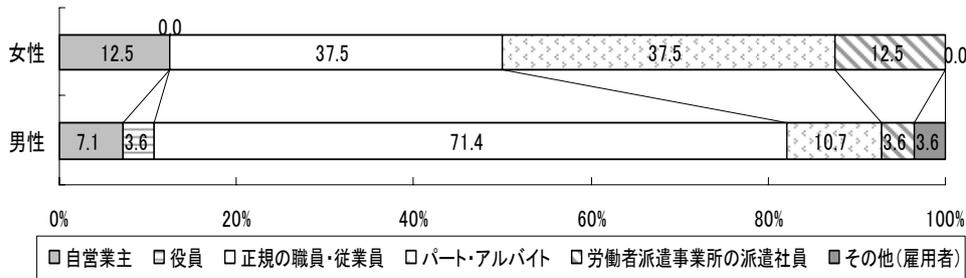
<女性の起業の課題>

- ・ 女性は男性に比べて就業経験が必ずしも十分ではなく、起業の実現率は高いものの、廃業率も高い。
- ・ 女性の就業経験をみると、起業や経営に係る知識・ノウハウや、起業に有用な人的ネットワークを形成するチャンスが少ない。
- ・ 育児、家事、介護等を担うのはいまだ女性が圧倒的な状況である中で、起業に当たって、また起業後の事業継続に当たって、家庭との両立の問題に直面している。

<求められる支援>

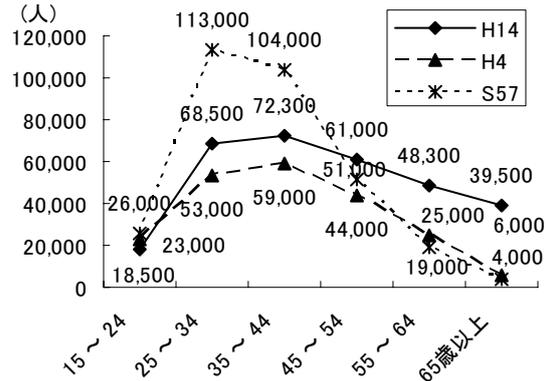
- ① 起業準備段階での支援（起業や経営に係る知識・ノウハウ不足を補うための支援）
（例）起業準備の各ステージにあわせたセミナー、インターネット等の家庭にいる女性にもアクセスしやすい形での起業に関する情報提供等。
- ② 起業後の女性に対する支援（人的ネットワーク形成の支援）
（例）起業者同士のネットワークを作るきっかけ作り、起業後に生じる問題解決を支援するための助言者の紹介等。
- ③ 就業と家庭生活の両立支援
（例）育児・介護等に係る社会的支援の整備充実、支援策自体に家庭を有する女性が参加しやすいような工夫を行うこと等。

図表1 過去3年間に離職した前職のある自営業主の前職の従業上の地位別割合

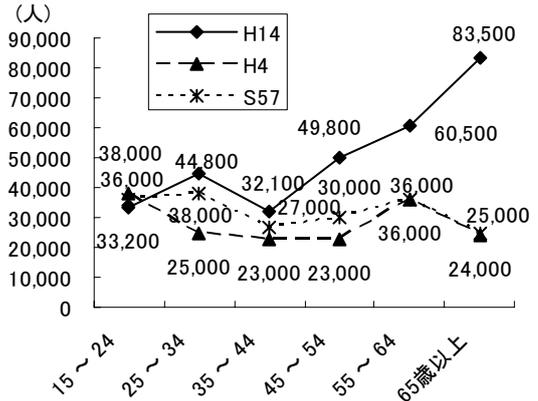


資料出所：総務省統計局「労働力調査（詳細結果）」（平成18年）

図表2 年齢階級別無業の起業希望者数の推移 (女性)

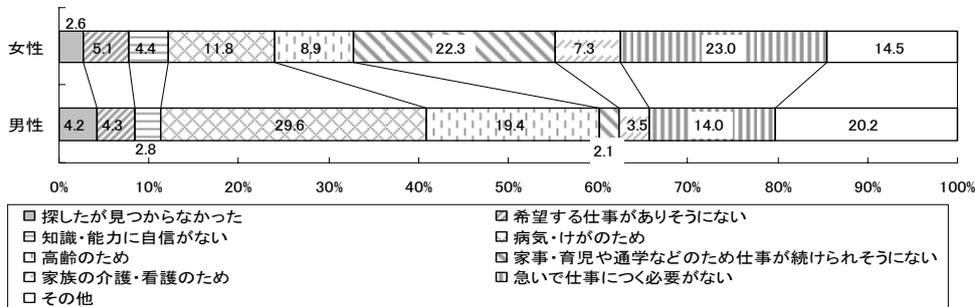


(男性)



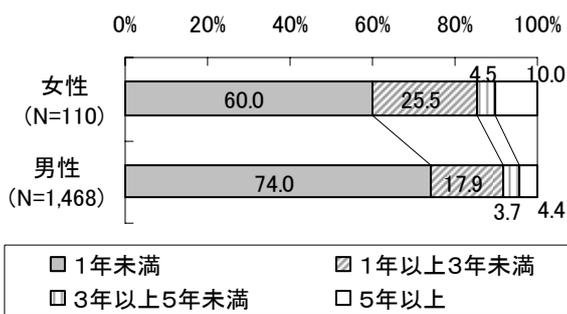
資料出所：総務省統計局「就業構造基本調査」

図表3 開業準備をしていない無業起業希望者の開業準備していない理由別割合



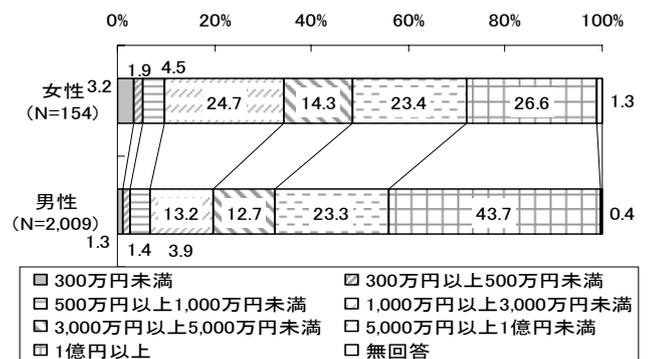
資料出所：総務省統計局「就業構造基本調査」（平成14年）

図表4 就業中断期間のある起業者の就業中断期間別割合



資料出所：(財)21世紀職業財団「起業に関する現状及び意識に関するアンケート」（平成18年）

図表5 起業者の年間売上高別割合



資料出所：(財)21世紀職業財団「起業に関する現状及び意識に関するアンケート」（平成18年）